

事務連絡  
令和8年5月 8日

北海道オーエスキー病並びに豚熱等  
侵入防止対策協議会 会員各位

北海道オーエスキー病並びに豚熱等  
侵入防止対策協議会事務局

海外旅客携帯品からの口蹄疫ウイルス分離事例について

日頃から、本協議会への御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

このことにつきまして、別添のとおり各養豚場にリーフレットを送付しますので、ご承知願います。

事務局：

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1

北海道水産ビル4階

電話011-590-4991



事 務 連 絡

令和8年5月 8日

養豚場各位

北海道オーエスキー病並びに豚熱等  
侵入防止対策協議会事務局

海外旅客携帯品からの口蹄疫ウイルス分離事例について

日頃から、本協議会への御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

近隣諸国で断続的に口蹄疫の発生が確認されている中、今般、新千歳空港へ到着した北京発の航空機に搭乗していた旅客の携帯品の検査で口蹄疫ウイルスが分離された旨、動物検疫所ウェブサイトで公表されたのでお知らせします。

なお、ご不明な点がございましたら、下記連絡先まで遠慮なくご照会ください。

記

送付資料

- 1 携帯品で持込ができなかった未加熱畜産物からのウイルス分離状況
- 2 旅客携帯品・国際郵便物の偶蹄類の肉等における口蹄疫ウイルスの遺伝子検査陽性事例・ウイルス分離検査陽性事例について

事務局：

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1

北海道水産ビル4階

電話011-590-4991

## 携帯品で持込できなかった未加熱畜産物からのウイルス分離状況

検査対象: 中国、ベトナム、台湾、フィリピン等からの旅客により持ち込まれ、輸入が認められなかった未加熱の偶蹄類動物(牛、豚等)、家さんの肉、臓器等

検査期間: 平成 27 年 6 月～

分離対象ウイルス(\*): 口蹄疫ウイルス、豚熱(CSF)ウイルス、アフリカ豚熱(ASF)ウイルス、鳥インフルエンザウイルス等

(\*ウイルス毎に分離対象に含めた時期は異なる。

### これまでに分離されたウイルス

調査時期	搭載国	畜種	分離ウイルス(株数)
			(赤字は高病原性の鳥インフルエンザウイルス)
平成 27 年度	中国	あひる	鳥インフルエンザウイルス H9N2 (2株)
			鳥インフルエンザウイルス H1N2 (1株)
			鳥インフルエンザウイルス H5N6 (1株)
		鶏	鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)
			鳥インフルエンザウイルス H5N1 (1株)
			鳥インフルエンザウイルス H5N6 (1株)
	台湾	鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)	
フィリピン	ニューカッスル病ウイルス (1株)		
平成 28 年度	中国	あひる	鳥インフルエンザウイルス H7N9 (1株)
	ベトナム	鶏	ニューカッスル病ウイルス (1株)
	中国		鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)
	ベトナム		鳥インフルエンザウイルス H9N2 (2株)
平成 29 年度	中国	あひる	鳥インフルエンザウイルス H7N9 (2株)
	台湾		鳥インフルエンザウイルス H5N1 (1株)
			鶏
平成 30 年度	中国	あひる	鳥インフルエンザウイルス H7N3 (1株)
			鳥インフルエンザウイルス H5N6 (2株)
	ベトナム	鶏	鳥インフルエンザウイルス H5N2 (1株)
			鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)
平成 31 年度 (令和元年度)	中国	豚	アフリカ豚熱ウイルス (2株)
	ベトナム	鶏	鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)
	ミャンマー	鶏	ニューカッスル病ウイルス (1株)
令和2年度	フィリピン	豚	アフリカ豚熱ウイルス (2株)
令和7年度	韓国	鶏	鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)
	バングラデシュ	鶏	鳥インフルエンザウイルス H9N2 (1株)
令和8年度	中国	山羊	口蹄疫ウイルス O 型 (1株)

農林水産省動物検疫所

<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html>

**旅客携帯品・国際郵便物の偶蹄類の肉等における口蹄疫ウイルスの  
遺伝子検査陽性事例・ウイルス分離検査陽性事例について**


アジア各地では、断続的に口蹄疫の発生が確認されており、中国や韓国でも近年相次いで発生が確認されています。動物検疫所では、日本の国際空港・国際郵便局における動物検疫所の検査で輸入が認められなかった偶蹄類の肉等の一部について口蹄疫ウイルスのモニタリング検査を行っており、以下の陽性事例が確認されました。

動物検疫所では、これらの国からの旅客携帯品・国際郵便物について、動植物検疫探知犬による探知、家畜防疫官による口頭質問、開被検査等を強化しています。

**【検査陽性事例(2026年4月24日時点)】**

旅客 携帯品	口蹄疫ウイルス遺伝子検査陽性事例 :	2 例	うち1例で口蹄疫ウイルスO型分離検査陽性
国際 郵便物	口蹄疫ウイルス遺伝子検査陽性事例 :	1 例	

**【口蹄疫ウイルス分離検査陽性となった偶蹄類の肉等の情報(旅客携帯品)】**

1 例目	到着日 : 2026年1月11日 ( 北京発、新千歳空港着 ) 品目 : 山羊肉(蹄) (8.23 kg) ( 申告あり )	
------	---	--

到着日・・・当該品が空港等に到着した日。( )内は所持者が搭乗していた航空機の出発場所及び到着空港。  
 品目・・・( )内は、当該品について旅客の所持が確認され動物検疫所の輸入検査に至ったきっかけ。